

個別ゼミ概要（WEB掲示用）

作成日：2024 年 3 月 4 日

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」		
ゼミ名	広告 ～世界をちょっと面白くするアイデア研究室～		
講師幹事名	小西 礼介	大学教員	
学 期	2024 年(春夏)	開講時間	水曜 4～5 時限
<過去の受講生の声> ➤ 電通の祖業は広告代理店であり、メディアを扱う会社だ！講義を受ける前に思っていた印象と実際に今電通が目指す姿は大きく違った。企業に伴走しながら中期的に目指す姿を考え、新たなビジネス領域を創造し、顧客にプロモーションして商品を届けるすべての一連の流れに関わっているというのは新しい発見だった。 ➤ キャンペーンデザインにおけるトップランナーである講師の方から、実際に携わられたプロジェクトの例を見せていただきながらキャンペーンを作っていくうえでの大事なことを学ぶことができた。ポカリスエットの CM など個人的になじみのあるものが多数出てきて、楽しみながら講義を理解できた。また、ワークショップでは短時間でリアリティのある課題に対して取り組むことができ、FB ももらえて有意義な時間だった。 ➤ 私たちが日々行動をする中で収集されているビッグデータがどのような形で実際に運用されているのか。また、プライバシー保護に関する規制が欧州やアメリカを筆頭に日本でも導入されつつある局面でいかにして、個人による提供するデータの管理と多様化するニーズに対して企業側から適切なオファーをしていくマーケティングニーズを満たしていこうとしているのかについて学んだ。 ➤ 私の周りでは普段テレビを見る人が少ないので、憶測でテレビの影響力はもっと弱まっていると想定していました。テレビの影響力がまだまだ強いことを実感し衝撃を受けました。自分が普段いる小さなコミュニティを見て、社会全体の動きを判断することの危険性を改めて実感し、もっと日ごろから社会の情報に触れる機会を意識的に作らなければならないと思いました。 ➤ 今回、前半はデジタルマーケティング、後半はビジネストランスフォーメーションのお話を聞くことができ、私が想像していた「広告会社」の枠を超えた様々な取り組みが電通では行われているのだと知り、とても興味深く感じた。 ➤ 以前の授業でも触れていたように、現在の広告ビジネスと呼ばれるものは広告だけではなく、会社の制度設計などにもクリエイティビティを発揮するような業界なのだと改めて理解できた。ビジネスにおける課題を解決するには現在地を適切に把握し、目標を定め、それに対する手段を考える必要がある。今回の授業では現在地を把握するためにどのような視点が有用なのかを学ぶことができて非常に勉強になりました。			